

株主の皆様へ

# 第71期事業のご報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで



# 福留八ム株式会社

証券コード2291

## CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業の概況	2
セグメント別の概況	3
セグメント別売上高	4
対処すべき課題	5
利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
連結財務ハイライト	6
連結財務諸表	8
個別財務諸表	12
株式概況	15
会社概況	16



代表取締役社長 福原治彦

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「第71期事業のご報告」をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

# 事業の概況

## ●事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令など、経済活動に制限のかかる状況が続きました。ワクチン接種の進展とともに持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株による感染再拡大や2月に発生したロシアのウクライナ侵攻、さらには世界的な原材料や資源価格の高騰など地政学リスクの高まりにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、感染拡大防止策など食品の安定供給維持を努めるとともに、当連結会計年度を2年目とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」において、「消費者ニーズにあった新たな商品開発と販売戦略の構築と実行」をテーマとして掲げ各重点施策に取り組んでまいりました。具体的には、「商品開発の強化」、「販売戦略の構築と実行」、「新規市場へのチャレンジ」の三点に取り組み、消費者の食に関するライフスタイルの変容や消費行動など、様々な需要に対応するため、家庭内での消費に対応した商品展開や新商品の開発、さらには既存商品のブラッシュアップと拡販に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、244億20百万円(前年同期は253億26百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は3億72百万円(前年同期は営業損失2億43百万円)、経常損失は3億27百万円(前年同期は経常損失1億69百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は固定資産売却益を1億86百万円計上したことや減損損失を5億50百万円計上したことにより7億18百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2億40百万円)となりました。なお、収益認識会計基準の適用により、当連結会計年度の売上高は5億61百万円減少しております。

## セグメント別の概況

### ●加工食品事業

加工食品事業におきましては、既存商品をブラッシュアップした環境にやさしいエコトレイ使用の「野菜といっしょにシリーズ」の「うす切りパストラミハム」や豚肩ロース肉を使用した厚切りステーキタイプの「ハムステーキ」、昨年販売した「あらびきKING」の新シリーズ「あらびきKING レモン&パセリ」、「肉厚ハンバーグ」シリーズ等が堅調に推移いたしました。売上高につきましては、競合他社との価格競争の激化に加え、昨年のコロナ禍により伸長した巣ごもり消費や内食需要の反動でインスタ商材等の販売の減少、さらにはギフト商戦における販売の減少などにより前年同期を下回りました。

その結果、売上高は107億32百万円（前年同期は114億86百万円）となりました。なお、収益認識会計基準の適用により、当連結会計年度の売上高は2億71百万円減少しております。

### ●食肉事業

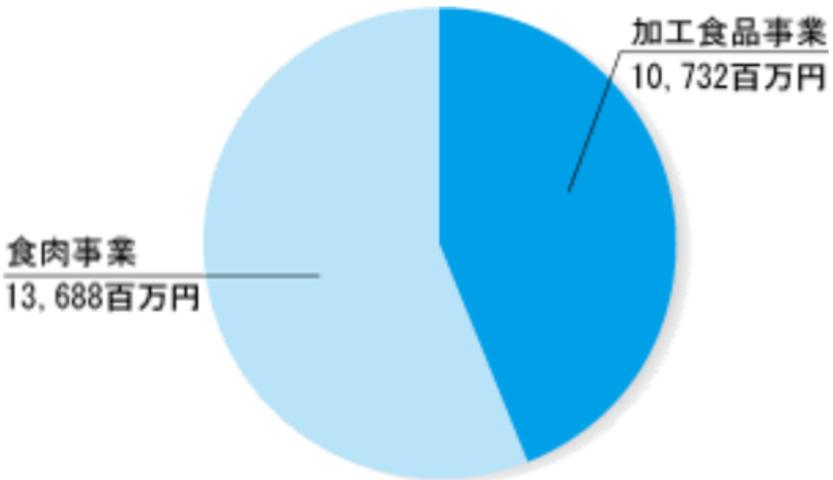
食肉事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の長期化等の影響により外食需要は引き続き厳しさを極めるなか、国産豚肉の「八女もち豚」や輸入豚肉の「大麦仕上三元豚」を中心としたブランド商品提案を強化してまいりました。売上高につきましては、国産牛肉は出荷頭数の減少により高値で推移し、売上高は増加いたしました。国産豚肉は、前年同期に比べ内食需要の高まりが落ち着いたことや夏季における発育不良に伴い出荷頭数が減ったことにより売上高は減少いたしました。また、輸入牛肉、輸入豚肉は、販売単価の上昇や北米産ビーフ等が売上を伸ばしました。

その結果、売上高は136億88百万円（前年同期は138億39百万円）となりました。なお、収益認識会計基準の適用により、当連結会計年度の売上高は2億89百万円減少しております。

## セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比	前 期 比
加工食品事業	10,732百万円	43.9%	—%
食 肉 事 業	13,688百万円	56.1%	—%
合 計	24,420百万円	100.0%	—%

(注) 当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、対前期増減率は記載していません。



## 対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の浸透により、感染拡大防止と経済活動の両立が徐々に期待されるなか、感染症の影響が終息をみせないことに加え、国際情勢不安や金融資本市場の変動など、景気の下振れリスクの懸念もあり、先行き不透明な経営環境が続くと予想されます。

当業界におきましても、原材料価格やエネルギーコストの予想を上回る急激な上昇・高騰が続いており、経営環境に及ぼす影響を最小限に抑えながら、市場への安定供給体制や消費者の購買行動の変化に対応していく必要があります。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画の重点施策を「開発・調達・製造・物流・販売の連携強化を通じた相乗効果の創出」と位置づけ、以下の三点に引き続き取り組んでまいります。

### 1 商品開発力の強化

食品メーカーとして、マーケティング活動を強化し、消費者ニーズを把握するなか、既存商品のブラッシュアップによる製造効率化や新商品開発による商品付加価値を高め、消費者から選ばれ続ける商品造りに注力してまいります。

### 2 販売戦略の構築と実行

商品戦略・取引先戦略・チャネル別戦略・エリア別戦略、等の販売戦略を明確かつ工夫し、商談力の強化と営業活動の効率化に積極的に取り組んでまいります。

### 3 新規市場へのチャレンジ

業務用(中食・外食向け)市場、ギフト市場、ネット市場等の新市場のシェア拡大に注力し、ブランド戦略と併せてビジネスモデルを構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

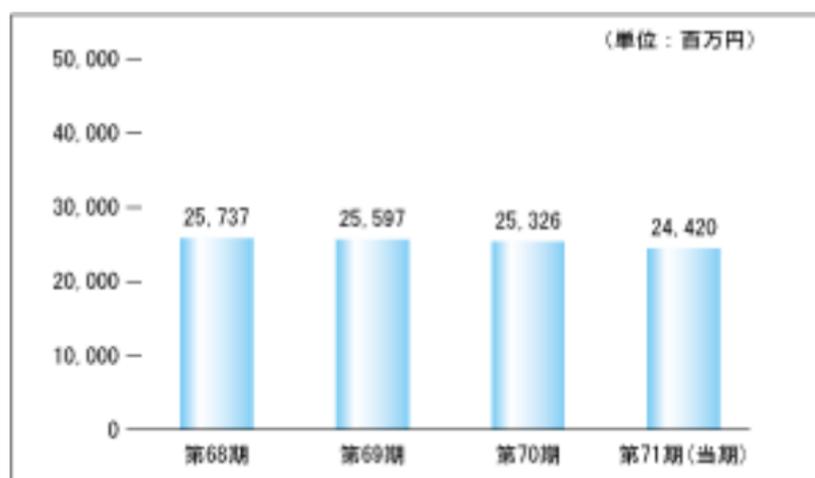
株主の皆様への利益分配につきましては、強固な経営基盤に基づく安定的な配当の継続を基本方針としております。

今後につきましては、より一層採算性の向上を図り、収益基盤を強化するなかで内部留保の充実と、将来にわたって安定した利益配分を行うことにより株主の皆様のご期待に沿うべく努力をしております。

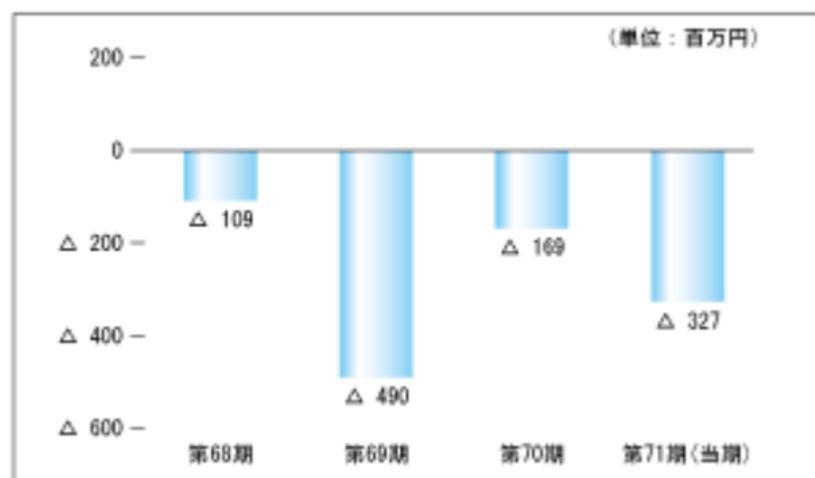
当連結会計年度につきましては、前連結会計年度に続き大幅な赤字決算を計上することとなったため、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるように努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務ハイライト

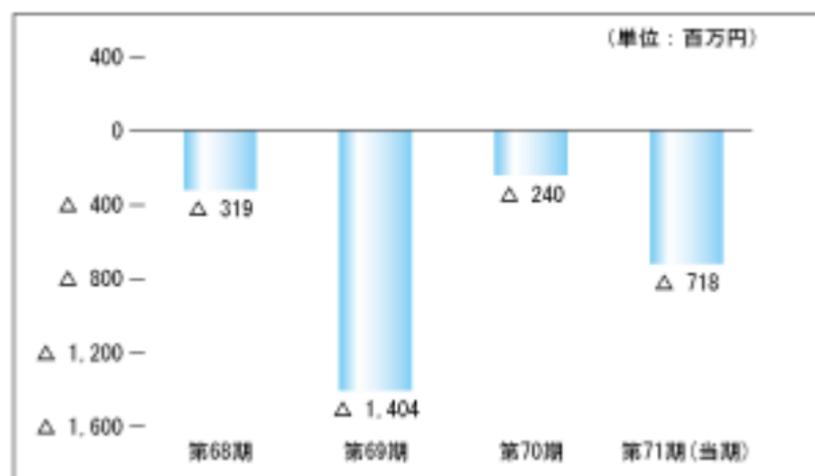
## ●売上高



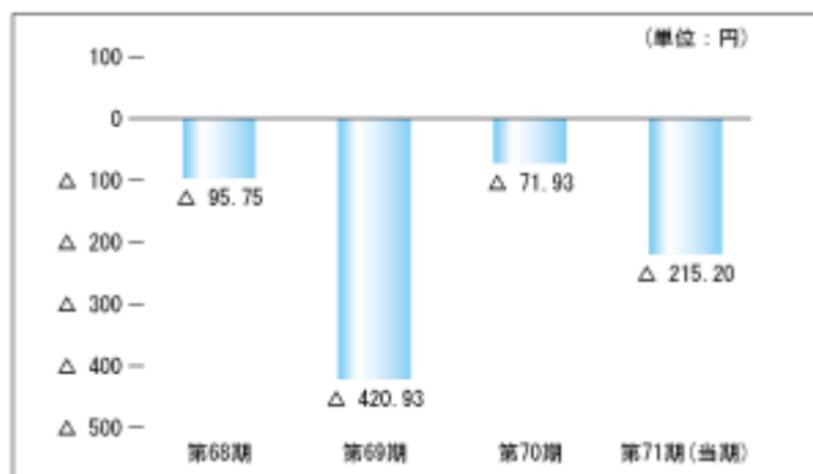
## ●経常利益



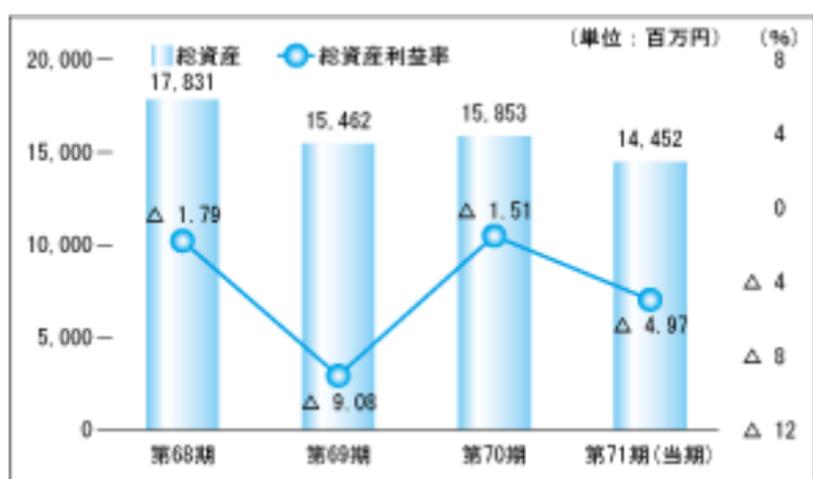
## ●親会社株主に帰属する当期純利益



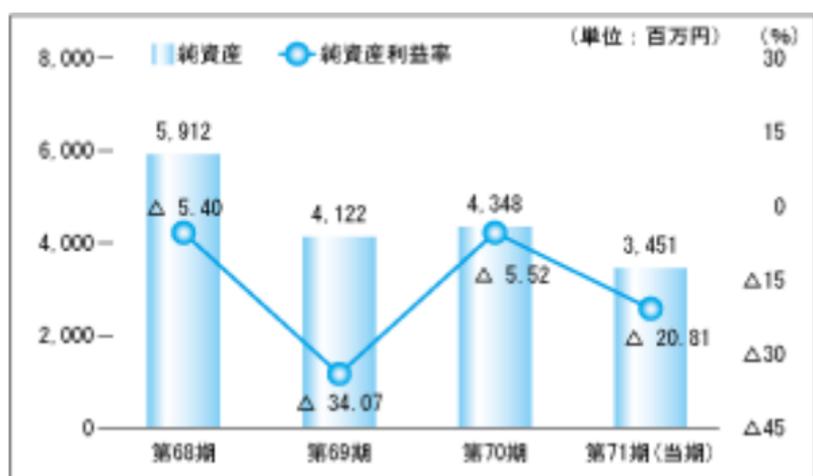
## ● 1株当たり当期純利益



## ● 総資産・総資産利益率



## ● 純資産・純資産利益率



# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表 (2022年3月31日現在)

科目		科目	
資産の部	単位：百万円	負債の部	単位：百万円
<b>流動資産</b>	<b>5,918</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,974</b>
現金及び預金	2,354	支払手形及び買掛金	2,080
受取手形及び売掛金	2,378	短期借入金	4,079
商品及び製品	894	リース債務	52
仕掛品	51	未払金	431
原材料及び貯蔵品	211	未払費用	85
前払費用	24	未払法人税等	47
その他	16	賞与引当金	154
貸倒引当金	△13	その他	44
<b>固定資産</b>	<b>8,534</b>	<b>固定負債</b>	<b>4,026</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>6,143</b>	長期借入金	1,779
建物及び構築物	2,415	リース債務	117
機械装置及び運搬具	662	役員退職慰労引当金	340
土地	2,888	退職給付に係る負債	1,511
リース資産	105	繰延税金負債	239
建設仮勘定	8	その他	37
その他	62	<b>負債合計</b>	<b>11,001</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>123</b>	<b>純資産の部</b>	
電話加入権	21	<b>株主資本</b>	<b>2,857</b>
リース資産	60	資本金	2,691
その他	41	資本剰余金	1,503
投資その他の資産	2,267	利益剰余金	△1,256
投資有価証券	2,055	自己株式	△80
出資金	42	その他の包括利益累計額	593
敷金及び保証金	86	その他有価証券評価差額金	604
保険積立金	34	退職給付に係る調整累計額	△11
その他	153	<b>非支配株主持分</b>	<b>0</b>
貸倒引当金	△103	<b>純資産合計</b>	<b>3,451</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,452</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,452</b>

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

## ● 連結損益計算書 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)

科目

	単位：百万円
売上高	24,420
売上原価	20,611
売上総利益	3,808
販売費及び一般管理費	4,181
営業損失	△372
営業外収益	145
受取利息及び配当金	44
不動産賃貸料	55
補助金収入	21
その他	24
営業外費用	100
支払利息	67
不動産賃貸費用	29
その他	3
経常損失	△327
特別利益	186
有形固定資産売却益	186
特別損失	550
減損損失	550
税金等調整前当期純損失	△692
法人税、住民税及び事業税	26
当期純損失	△718
非支配株主に帰属する当期純利益	0
親会社株主に帰属する当期純損失	△718

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

## ● 連結株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
2021年4月1日残高	2,691	1,503	△538	△80	3,575
連結会計年度中の変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△718		△718
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△718	△0	△718
2022年3月31日残高	2,691	1,503	△1,256	△80	2,857

	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
2021年4月1日残高	788	△16	772	0	4,348
連結会計年度中の変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)					△718
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)	△184	5	△179	0	△179
連結会計年度中の変動額合計	△184	5	△179	0	△897
2022年3月31日残高	604	△11	593	0	3,451

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)

科目

	単位：百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△337
現金及び現金同等物の増減額	△330
現金及び現金同等物の期首残高	2,515
現金及び現金同等物の期末残高	2,184

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

# 個別財務諸表

## ●貸借対照表 (2022年3月31日現在)

科目		科目	
資産の部	単位：百万円	負債の部	単位：百万円
<b>流動資産</b>	<b>5,902</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,972</b>
現金及び預金	2,338	支払手形	451
受取手形	15	買掛金	1,628
売掛金	2,362	短期借入金	3,800
商品及び製品	894	1年内返済予定長期借入金	279
仕掛品	51	リース債務	52
原材料及び貯蔵品	211	未払金	425
前払費用	24	未払費用	85
未収入金	13	未払法人税等	46
その他	2	未払消費税等	4
貸倒引当金	△13	預り金	39
<b>固定資産</b>	<b>8,547</b>	賞与引当金	154
<b>有形固定資産</b>	<b>5,931</b>	その他	5
建物	2,367	<b>固定負債</b>	<b>4,015</b>
構築物	48	長期借入金	1,779
機械及び装置	659	リース債務	117
車両運搬具	3	退職給付引当金	1,499
工具器具備品	62	役員退職慰労引当金	340
土地	2,676	繰延税金負債	239
リース資産	105	その他	37
建設仮勘定	8	<b>負債合計</b>	<b>10,987</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>123</b>	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	41	<b>株主資本</b>	<b>2,858</b>
リース資産	60	資本金	2,691
電話加入権	21	資本剰余金	1,503
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,493</b>	資本準備金	1,503
投資有価証券	2,055	<b>利益剰余金</b>	<b>△1,255</b>
関係会社株式	42	その他利益剰余金	△1,255
出資金	42	繰越利益剰余金	△1,255
関係会社長期貸付金	480	<b>自己株式</b>	<b>△80</b>
破産更生債権等	7	<b>評価・換算差額等</b>	<b>604</b>
長期前払費用	1	その他有価証券評価差額金	604
敷金及び保証金	86	<b>純資産合計</b>	<b>3,463</b>
保険積立金	34		
その他	115		
貸倒引当金	△372		
<b>資産合計</b>	<b>14,450</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,450</b>

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

## ● 損益計算書 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)

科目

	単位：百万円
売上高	24,420
売上原価	20,638
売上総利益	3,781
販売費及び一般管理費	4,155
営業損失	△374
営業外収益	148
受取利息及び配当金	48
不動産賃貸料	56
受取手数料	4
補助金収入	21
その他	17
営業外費用	100
支払利息	67
不動産賃貸費用	29
その他	3
経常損失	△326
特別利益	199
固定資産売却益	186
抱合せ株式消滅差益	13
特別損失	550
減損損失	550
税引前当期純損失	△676
法人税、住民税及び事業税	24
当期純損失	△701

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

## ●株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から

2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	
		資本準備金	資本剰余金 合 計	その他利益剰余金 繰越利益 剰 余 金	利益剰余金 合 計
2021年4月1日残高	2,691	1,503	1,503	△554	△554
事業年度中の変動額					
当期純損失 (△)				△701	△701
自己株式の取得					
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額 (純額)					
事業年度中の変動額合計	-	-	-	△701	△701
2022年3月31日残高	2,691	1,503	1,503	△1,255	△1,255

	株 主 資 本		評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
2021年4月1日残高	△80	3,560	788	788	4,348
事業年度中の変動額					
当期純損失 (△)		△701			△701
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の 項目の事業年度 中の変動額 (純額)			△184	△184	△184
事業年度中の変動額合計	△0	△701	△184	△184	△885
2022年3月31日残高	△80	2,858	604	604	3,463

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

# 株式概況 (2022年3月31日現在)

## ●株式の状況

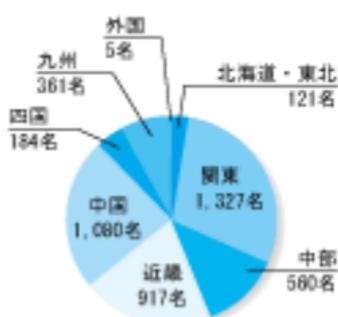
- ① 発行済株式の総数 3,336,990株 (自己株式63,010株を除く。)
- ② 株主数 4,555名

## ●大株主

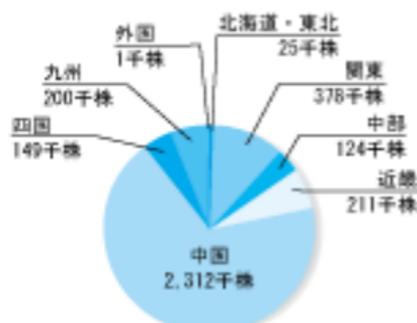
株主名	大株主の当社への 出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
株式会社福留興産	985	29.53
福栄会	344	10.34
福原康彦	130	3.91
中島修治	78	2.34
株式会社フジ	63	1.89
株式会社もみじ銀行	62	1.87
福原治彦	61	1.85
株式会社広島銀行	48	1.45
株式会社伊予銀行	46	1.39
株式会社福岡銀行	46	1.39
株式会社西日本シティ銀行	46	1.39

## ●地域別株式分布状況

株主数



所有株式数



# 会社概況

## ● 会社概要

(2022年3月31日現在)

設立	1958年3月22日
資本金	26億9,137万円
従業員数	連結362名
本社	広島市西区草津港二丁目6番75号
支店	広島・山口・岡山・松山 高松・北九州・福岡・佐賀 大分・熊本
営業所	呉・松江・徳島・長崎 熊本南・鹿児島・宮崎
流通営業部	広島・岡山・福岡・関西 関東
工場	広島・熊本・岡山
直販店舗	外食：(焼肉一番団楽) 千田店・草津南駅前店 LECT店 精肉： 到津店・砂津店・太宰府店 そごう広島店

## ● 役員

(2022年6月23日現在)

代表取締役会長	中	島	修	治
代表取締役社長	福	原	治	彦
専務取締役	目	貫	啓	治
常務取締役	砂	田		誠
常務取締役	末	岡	正	美
取締役相談役	福	原	康	彦
取締役	草	場	利	行
取締役	原		孝	司
取締役	越	智		貢
取締役	中	野	千	秋
常勤監査役	吉	田	裕	二
常勤監査役	明	石	嘉	典
監査役	池	村	和	朗
監査役	近	藤	敏	博

## 株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月中に開催  
基準日 定時株主総会については毎年3月31日  
その他必要あるときは、公告して定めた日  
剰余金配当株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告  
(アドレス <http://www.fukutome.com>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によ  
って電子公告による公告をすることができ  
ない場合は、日本経済新聞に掲載いたしま  
す。  
貸借対照表および損益計算書については、  
**EDINET**に掲載いたしております。

### 株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社

事務取扱場所 福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号  
日本証券代行株式会社 福岡支店

郵便物送付先 〒168-8620

お問い合わせ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
(各種届出用紙のご請求・其他のご照会) ☎0120-707-843

上場取引所 東京証券取引所スタンダード市場  
証券コード (2291)

単元株式数 100株